



電車に乗れるようになった経験を活かす。

チャン ヴァン トゥオン
TRAN VAN THUONG

海外で働いたり、勉強に行ったりするのは本当に大変です。その国へ行く前も行ってからも、いろいろなことを勉強しなければなりません。日本で生活するのも、もちろん例外ではありません。日本で快適に生活するには、日本語が分からなければなりません。日本人と話すのは当たり前ですが、電車に乗ったりご飯を食べに行ったりする時も日本語を使わなければなりません。

私が最初に一番苦労したのが、日本の交通機関に慣れることです。日本にはいろいろな交通機関があります。電車、地下鉄、バス、タクシーなどなど。ベトナムよりこんなに乗り物が多くて便利なのに、ベトナム人の私にはとても複雑でした。私にとっては電車が一番身近ですが、慣れるのに一番時間がかかりました。

私は日本に来て初めの頃、住んでいる所以外は全然どこへも行きませんでした。なぜなら、切符の買い方や電車の時間の見方、乗り方など何もかもがよく分からなくて怖かったからです。でも、とうとう電車に乗る日が来ました。その時は、会社の人と一緒にいたので問題はありませんでしたが、私は本当に驚きました。私はその時まで、電車の切符は窓口で買うのだと思っていましたが、全然違いました。機械から自動的に切符が出てくるんです。私は券売機というものを知らなかったから、本当にビックリしました。もし1人だったら、切符を買わないで帰っていたかもしれません。

私が1人で電車に乗れるようになったきっかけは、日本で実習をしている妻に会いに行く時でした。私が住んでいる寝屋川から妻の居る淡輪までは片道1時間半、乗り換え3回の非常に難しいルートでした。私はその時初めて、乗り換えアプリというものを使って、難しい乗り換えを成功することができました。妻と会う約束がなければ、私は今も自分で電車に乗ることができなかったかもしれません。妻に会いたいという気持ちが私を成長させてくれました。それと同時に私は漢字の勉強は本当に大切だと気がつきました。ベトナムのセンターにいた時は、漢字は難しいし、漢字が分からなくても日本で仕事や生活ができると思っていました。しかし、全然違いました。日本で電車に乗ったり、ご飯を食べに行ったりする時、いつでも漢字を見ます。今回の電車の乗り換えアプリも同じです。私は日本に来てから毎日漢字を勉強していましたが、この時に本当に役に立ったと感じました。

自分でアプリを理解して電車に乗れるようになって、私は日本での生活に自信が持てるようになりました。そして、漢字に興味を持てるようになったので、今は書道を練習しています。とても難しいですが、日本に居る間に絶対身につけたいです。日本での生活で、勉強するだけでなく、勉強したことを使う大切さを知りました。これからも3年間、成長し続けたいです。